

発寒ひかり
保育園だより

2023年
3月号

巻頭言

当園の保育士が先日研修に参加した際、講師の先生より「研修を受けているという事を、保護者の方にきちんと伝えていきますか」との話しがあったそうです。振り返ってみた際、たしかに足りない部分があったと感じました。

研修は職員の専門性の向上のためにとても大切ととらえ、当園でも積極的に機会を設けています。『園内研修』では保育に関して年4回程度実施、グラウンドの遊具の使い方やAEDの利用方法などの救急に関しても毎年行っています。また、『園外研修』となるとコロナ禍で例年よりも少なかった令和3年度は18回のべ40人ほど参加しており、令和4年度は昨年度を上回っています。その内容は「不適切な保育を予防する・・・前に、適切な保育ってどんなもの?」「乳幼児のからだところの育ちを支える知識と技能の基本を学ぶ」「運動あそびく体を動かす楽しさをく」等と多岐に渡ります。コロナ禍でオンラインでの研修も多かったのですが、対面での研修もようやく増えってきました。対面でのグループワークなどが、貴重な情報交換の場にもなり得ます。

研修は参加した職員はもちろん、内容を職員間で共有することも大事です。その中で、遊びや環境などの具体的な学びや、子どもの発達について深めたり、子どもに向けるまなざしや気持ちをより理解することにもつながります。実際に、日々の保育や環境についての見直しも行っています。

これからも研鑽を積み、保育の向上へと繋げていきたいと思っています。

園長 阿部 尚子